

京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻
専任教員募集要項

令和5年3月17日
京都府立大学 大学院生命環境科学研究科
研究科長 古田裕三

このたび、京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻では、専任教員を募集することになりましたので、下記より応募いただきますようお願い致します。

記

1. 募集概要

本研究科応用生命科学専攻では、人類が直面しているさまざまな生命科学分野の課題に取り組み、人類福祉の向上と地球環境保全のための新技術の開発を目的とした教育・研究を行っています。その中で、システム創成化学専門種目は、物理化学や分析化学手法を用いて系統的に生命化学を追及して上記目的の達成に資することを目指します。このたび、分析化学系分野での教育・研究を担当していただける教員を募集します。

なお、令和6年4月の学部改組（予定）により、生命環境学部生命分子化学科は生命理工情報学部生命化学科に移行し、当該専門種目は、生命化学科を兼担します。生命化学科では、生命現象を分子レベルで理解し、専門知識と先端技術を展開して社会に貢献できる人材を養成します。

2. 職名および人員：教授 1名

3. 所属：生命環境科学研究科 応用生命科学専攻

4. 専門種目：システム創成化学（機能分子解析化学）

5. 担当科目：大学院：機能分子解析化学特論など
学部：分析化学・高分子化学・専攻科目実験及び卒業論文など

6. 応募要件（以下のすべてに該当すること）

- (1) 生命化学を分析化学的手法および高分子化学的技術を用いて、分子認識を基として系統的に解析して捉えるための該博な知識と十分な研究業績（該当分野でのトップジャーナルにおける論文掲載やインパクトファクターの極めて高い国際誌への掲載など）があり、その発展に貢献できること。新規分析デバイス開発技術を有し、大学間連携等を通して京都における医療分析技術の発展や産業創成に貢献できることが望ましい。
- (2) 応用生命科学専攻および生命化学科の理念と目標を理解し、大学院および学部の教育・研究指導、特に分析化学および高分子化学を担当できること。
- (3) 博士の学位を有すること。
- (4) 大学運営、地域貢献活動等に対して意欲を有すること。

- (5) 外部からの資金調達に積極的であるとともに、大型の科研費や、JST、AMED や官公省庁機関等の大型の外部資金獲得実績があること。
- (6) 国際交流に積極的で、実績があること。

7. 着任時期 : 令和6年4月1日

8. 応募書類 (A4 縦おき、横書き)

- (1) 履歴書 (書式自由、写真貼付)
 - 1. 氏名 (ふりがな)、生年月日、現住所、連絡先住所、電話番号、e-mail アドレス、高等学校卒業以降の学歴ならびに職歴・研究歴、資格、賞罰
 - 2. 学会活動 (所属学会、役職などとその期間)
 - 3. 社会活動 (嘱託・役員・委員の名称などとその期間)
- (2) 研究業績関係資料
 - 1. 現在までの研究概要 (2,000 字程度)
 - 2. 研究業績目録
 - ① 原著論文、② 博士学位論文、③ 総説・著書、④ その他刊行物、⑤ 特許、⑥ 科研費補助金などの各種研究助成金、⑦ その他自己アピールできる物
- (3) 原著論文およびその他の著作物の別刷 (コピー可) 5 編以内 各 5 部
- (4) 着任後の教育・研究に関する構想と抱負 (2,000 字程度)
- (5) 本人について照会することのできる方 2 名の氏名と連絡先

なお、応募書類は返却しません。選考終了後当方で責任をもって処分します。

9. 選考方法

選考委員会で審議選考し、専攻教授会、研究科教授会の議を経て候補者を決定します。選考の最終過程で面接やセミナーをお願いすることがありますが、その際の旅費は自己負担をお願いします。

10. 応募締め切り : 令和5年4月7日 必着

11. 応募方法、送付先および問い合わせ先

- (1) 応募方法 : 書留郵便または宅配便などの配達記録の残る方法に限ります。表に「システム創成化学 (機能分子解析化学) 教員応募書類」と朱書きしてください。
- (2) 送付先 : 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5
京都府立大学 大学院生命環境科学研究科
応用生命科学専攻 システム創成化学 (機能分子解析化学) 教員選考委員会
- (3) 問い合わせ先 : 京都府立大学 大学院生命環境科学研究科 応用生命科学専攻
(生命環境学部 生命分子化学科)
織田 昌幸教授 oda@kpu.ac.jp 075-703-5673

12. 備考

京都府立大学では、男女共同参画を推進しています。本選考にあたっては、「京都府立大学における女性教員の採用・登用の促進のための学部・研究科によるアクション・プラン」に則り、選考を進めます。